

平成25年度 第1回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成25年5月24日（金） 10：00～17：30

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（（独）労働者健康福祉機構関西労災病院
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）

尾崎 博（国立大学法人東京大学農学部教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会 品質保証本部安全政策推進室室長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

品川 邦汎（岩手大学特任教授）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか9名が出席

4 議題

（1）平成25年度追加公募研究課題のヒアリング審査対象課題の選定について

（2）平成24年度終了研究課題（課題番号：1001、1002、1003、1006、1007、1009、1106）の事後評価（ヒアリング審査）について

（3）その他

5 議事概要

（1）平成25年度追加公募研究課題のヒアリング審査対象課題の選定について

平成25年度食品健康影響評価技術研究公募要領に基づき応募された6課題について、各委員が事前に行った書面審査の結果を基に検討した結果、3課題について、6月4日開催予定の次回会議においてヒアリング審査を実施することとなった。

（2）平成24年度終了研究課題（課題番号：1001、1002、1003、1006、1007、1009、1106）の事後評価（ヒアリング審査）について

平成24年度で終了した研究課題（11課題）のうち、次の7課題の研究成果について、当該研究課題の主任研究者からヒアリング審査を実施した。

- ①1001: 遺伝子発現モニターマウスを用いた発達期脳に対する化学物質暴露影響評価法の開発 (森寿 富山大学)
- ②1002: フタル酸エステルの生殖・次世代影響の健康リスク評価に関する研究 (那須民江 中部大学)
- ③1003: 食品中化学物質への胎生～新生期暴露が情緒社会性におよぼす影響評価手法の開発 (佐藤薫 国立医薬品食品衛生研究所)
- ④1006: グリシドール脂肪酸エステルおよび3-MCPD脂肪酸エステルの安全性評価に関する研究 (小川久美子 国立医薬品食品衛生研究所)
- ⑤1007: 用量反応性評価におけるベンチマークドース法の適用に関する研究 (広瀬明彦 国立医薬品食品衛生研究所)
- ⑥1009: トランス脂肪酸による動脈硬化性疾患の発生機序の解明と健康影響評価手法の確立 (平田健一 神戸大学)
- ⑦1106: 食品中のアルミニウムの神経発達系への影響など、新生児発育に対するリスク評価研究 (吉田優 神戸大学)

(3) その他

平成25年8月に開催を予定している食品健康影響評価技術研究成果発表会(公開)の開催方式等について意見交換を行い、6月4日開催予定の次回会議において、事務局から候補案を示すこととなった。

—以上—

(注: 本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)